

平成29年度 国語 発展国語シラバス

使用教科書	京都書房 テスト式国語常識の総演習
単位数	2単位
対象	2・3年次選択

目標: 演習を通して就職や進学に役立つ国語の力を身につける。

評価: ①出欠状況10%、学習への主体的態度、姿勢10%を評価する。

提出物30%、中間・期末テスト50%を評価する。

②小テスト、確認テストを行い、評価点に加味する。

③毎時間学習した内容を提出させ、日常点に加味する。

④評価の5観点「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」のうち、発展国語の授業においては「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点に重点を置き、授業を行う。

学期	月	時間	学習内容	学習のねらい	評価の方法
前	4	5	①漢字の読みと書き ②同訓異字・同音異字	基礎的な漢字の読みや書きを身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	5	7	③慣用句	日常生活の中で使われる慣用句について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	6	7	④ことわざ⑤外来語	日常生活の中で使われることわざや外来語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	7	6	⑥難読語の読み	新聞等によく使われる難読語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
期	9	3	⑦現代用語基礎知識	現代社会の問題を理解するための用語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
		4	⑧口語文法	品詞の識別について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
後	10	7	⑨近代文学 詩集・歌集	表現技法について学び、就職試験や大学受験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	11	8	⑩長文での表現演習	就職試験や大学受験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	12	5	⑪文学史演習	近代文学史の作者や作品について学び、文学史についての知識を深める。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
期	1	5	⑫古典文学	和歌、文芸理念について学び、知識を深める。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	2	7	⑬手紙の書き方 慣用挨拶	手紙の書き方のきまりについてまなび、生活の中で生かせるようにする。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	3	6	⑭敬語の使い方演習	敬語の使い方を学び、日常生活の中で生かせるようにする。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。